

クラシノコアゲ応援団街頭行動 第20弾 (5/30)

働き方改革の早期実現を多くの市民に訴える

高度プロフェッショナル制度の導入を阻止しよう!

～県内7カ所の街頭で統一行動として実施～

連合福島の「クラシノコアゲ応援団街頭行動」は今回で20回を数え、県内7カ所において展開し多くの市民の皆さんに訴えました。

街頭行動では、2018年春季生活闘争における組織労働者の処遇改善の成果を労働組合のない職場、そして不安定雇用で働く方など、すべての労働者の底上げ・底支えに結びつけることと、今国会の最重要法案である「働き方改革関連法案」をめぐる取り組み、福島県最低賃金の大幅アップをはかる運動等を訴えました。また、「福島県最低賃金の改正に向けた署名活動」、「なんでも労働相談ダイヤル」の広報については、各地域連合の構成組織の皆さんの協力を頂きながら、ティッシュ・チラシを配りながら多くの市民の皆さんに理解を頂きました。

働き方改革関連法案の主な改正点と課題

残業時間の上限規制	無制限に残業をさせることができる現在の法律を改め、罰則付きの時間外労働の上限規制の導入。
有休取得の義務化	年休が10日以上労働者に対し、そのうち5日を企業が時季を指定して確実に取得できるよう義務づける。
勤務間インターバル制度の普及	終業と始業間に一定の休息時間を確保する（努力義務化）。
残業割増率の猶予措置廃止	月60時間を超えた残業時間の割増賃金率を50%とする法律の中小企業への猶予措置を廃止する。
産業医の機能強化	産業医に対し、従業員の健康管理に必要な情報提供を企業に義務づける。
同一労働同一賃金	雇用形態にかかわらず、同じ職場内で生じる不合理な待遇差を禁止する、均等・均衡待遇の実現。
高度プロフェッショナル制度の創設	高収入(1075万円以上を想定)で専門知識を持った労働者について、本人同意などを条件に労働時間の規制から外す。残業代は支払われない。今後対象範囲が広がる可能性が大きく、長時間労働を助長する懸念のある制度。

労働基準法を含む8本の重要法案が、一括して国民の合意形成が図られないまま、短期間で審議されていると言わざるを得ない。既に衆議院を通過し現在は参議院で審議されているが、高度プロフェッショナル制度の削除やハラスメントの防止対策の強化などいくつもの問題点・課題の解決に向け、与・野党の真摯な議論を強く望むものである。

【街頭行動実施状況】

◎県北地域1 福島駅東口エスタビル前 17:45～ 今野泰会長、他50名参加



市民の皆さんに訴える、クラシノコアゲ応援団長・連合福島今野泰会長



福島地区連合 紺野淳事務局長



県労福協 佐久間通事務局長



最賃引上げ署名



ティッシュとチラシを配り、理解を求める



連合福島 志賀一幸副会長



福島地区連合 成田威文議長



多くの市民の皆さんに署名の協力を頂きました

◎**県北地域2** 福島駅西口ザセレクトンホテル前 17:45～ 加藤光一事務局長、他25名参加



左から、
連合福島加藤光一事務局長、
連合福島佐藤裕副会長、
伊達地区連合高橋誠一議長、
二本松・安達地区連合高橋誉議長

◎**県中地域** 郡山駅西口広場 18:15～ 安藤和彦地域連合議長、他50名が参加



郡山駅西口広場で行われた街頭行動の様子、バス時間を待つ市民の皆さんにも最賃の引上げ署名の協力を頂きました

◎**県南地域** 白河駅前広場 17:15～ 畠山史信地域連合議長、他9名が参加



JR白河駅前で訴える県南地域連合会役員の皆さん

県南地域連合畠山史信議長 連合福島遠藤和也副会長

◎**会津地域** 会津若松神明通り 17:30～ 石井陽一地域連合議長、他20名が参加



左より、会津地域田中秋広担当部長、同じく石井陽一議長、地域連合役員・議員皆様による街頭宣伝、最賃引上げ署名の取り組みの様子

◎**いわき地域** いわき駅前 18:00～ 新妻浩地域連合議長代行、他30名が参加



左から、
いわき地域木戸順一担当部長、
同じく新妻浩議長代行、
同じく稲川昌浩副議長、
最賃引上げ署名の取り組みの様子

◎**相双地域** 南相馬市北原商店街 17:15～ 白坂陽一郎地域連合議長、他8名が参加



左から、ショッピングセンター前で市民の皆さんに訴える役員の皆さん、相双地域連合白坂陽一郎議長、他